



保健のページ



子どもの事故事例を確認し、事故防止に努めましょう！紹介する事例は、過去に実際起こっている事故になります。ご家庭ごとの状況を振り返るヒントになれば幸いです。

【自転車事故に注意！】

自転車後部に子どもが同乗し走行している際の事故は、2019年～2023年の5年間で207件報告されています。

後部座席で足をぶらぶらしていたところ、車止めポールやガードレールに接触し、大腿骨を骨折し入院する事故が毎年のように起こっています。

後部座席にいる子どもは、前方の視界がほとんどありません。子どもにしっかりシートベルトやヘルメットを着用させ、身体をはみ出させないように伝えましょう。

狭い通路では、障害物に接触しないように、保護者の方は自転車から降りて押して歩くようにしましょう。

【ボタン電池の誤飲に注意！】

ボタン電池を誤飲すると、食道や胃などの消化管を損傷する危険性があります。過去には死亡事故も発生しています。

まずは、子どもの手が触れる箇所に電池を置かないように注意します。また、ボタン電池を使用している電化製品を把握し、蓋が外れていないか確認を定期的に行いましょう。

「誤飲したかも？」と気づいた際には、急いで医療機関を受診してください。

【熱傷に注意！】

ポット型の加湿器の蒸気が出る箇所に手を当ててしまったり、また、椅子のように座ることで臀部に熱傷を負ったりする事故が発生しています。チャイルドロックが付いている機種もありますが、子どもが触ることの出来る高さに設置していないか今一度ご確認ください。

同様の事故は、炊飯器の蒸気でも起こっています。さらに、キッチンには危険箇所がたくさんあります。包丁が取り出せる位置にないか、コンロのスイッチに触ることができるようになっていないかなどご確認ください。

また、温かいものを食べる機会も多くなる季節です。

手が届かないだろうと置いた鍋などの、鍋敷きを引っ張ったり、コンセントコードを手繰り寄せて鍋ごとかぶってしまったという事故事例もあります。テーブルクロスも引っ張る事ができるようになっているとお子さんが小さいうちは危険です。

今は大丈夫でも、数か月の間に身長が伸び、成長に応じて手の届く範囲が広がり、出来ることがどんどん増えていきますので、定期的に確認をし、事故を防いでいきましょう！！

看護師より

